



# 筑西労基署 広報

第24号

平成22年3月16日

編集発行：筑西労働基準監督署

筑西市下中山581-2

TEL0296(22)4564

## <目標“300日死亡災害ゼロ”に向かって／過去2番目の記録を更新中>

筑西監督署2階事務室の入り口の脇に、

『めざせ！0災 第11次労働災害防止計画推進中』

とう看板があるのにお気づきでしょうか。

ただいま当署では死亡災害0を目標に、指導を強化するとともに、自主的災害防止活動に皆様のご協力を仰いでおります。

現在の、死亡災害0連続記録は278日（3月14日現在）。これまでで2番目の記録を更新中です。ちなみに最長記録は、平成15年8月21日に達成した374日。当面の目標の300日をクリアーし、さらに最長記録に向かって努力してまいりますので、関係者の皆様のご協力をお願いします。



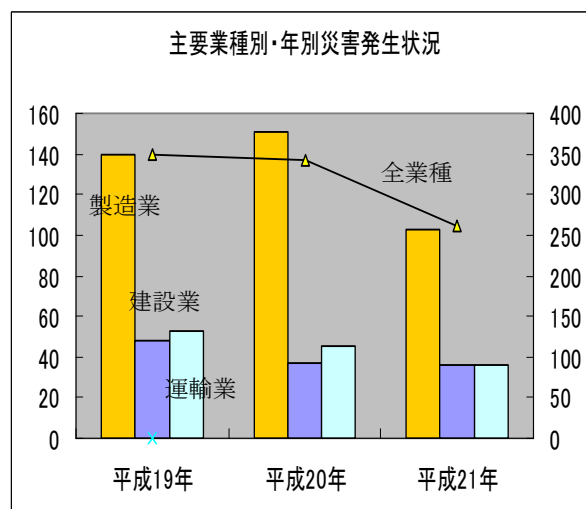
## <21年の災害発生件数は大幅減少／災害統計速報値>

平成21年に当署管内において発生した労働災害（休業4日以上）の災害に限る）は、1月31日現在の集計で262件となり、昨年の確定値である342件を80件も下回るなど大幅に減少しております（下表参照）。確定値では若干の上積みも見込まれますが、これまでで“最小”記録となることは間違いない情勢です。ひとえに関係者の皆様のご尽力の御蔭と、感謝申し上げます。

特に製造業については景気後退の影響も考えられますが、減少率が32%と極めて大きく、全体を牽引する形になっております。

また死亡災害は、21年は前年同様2件発生しています。

	19年	20年	21年	21年前年比較	
				件数	%
製造業	140	152	103	-48	-32%
建設業	48	37	36	-1	-3%
運輸交通業	53	45	36	-9	-20%
商業	44	37	30	-7	-19%
全業種	349	342	262	-80	-23%



（注）21年は暫定値（1月31日現在）です。4月頃に確定値が出されます。

## 話題

### ◇ 両手押しボタン式スイッチに切り替えを検討／プレス災防

プレス災防は3月9日に委員会を開催し、2010年度のプレス災害防止活動について審議しました。今回は、起動方式を「足踏み式スイッチ」から「両手押しボタン式」に切り替えることについても検討。委員

会として、会員会社の実情を調査のうえ、可能な限りプレス機の起動スイッチを、「足踏み式」から「両手押しボタン式」に切りかえるなど、リスクに見合った改善計画を建てていくことを確認しました。最終的には、5月の総会で会員の承認を仰ぐ予定です。

プレス災害は手指を失うなど後遺障害を残す災害です。平成21年に筑西署管内で6件のプレス災害が発生しましたが、そのすべてが足踏みスイッチ式のプレスによるものでした（下表）。 ※右写真は本文と無関係



### 【21年 プレス機械災害発生事例】

No.	休業見込日数 傷病名	災害発生状況及び原因
1	休業 2ヶ月 左手親指 切断	35トンプレス機械を使用して金属材料（丸棒）の加工作業中、丸棒の端を左手で押えながら足踏みスイッチを踏んだところ、丸棒を持っていた指が滑り、金型に左手指をはさまれた。
2	休業 1ヶ月 右手中・薬指骨折	20トンプレス機械を使用して金属材料のつぶし作業中、二度打ちが発生し、加工品を取りにいった右手指を金型にはさまれた（足踏み操作式スイッチ使用）。
3	休業 14日 左手中・薬・小指 裂傷等	50t プレス機械を使用して、アルミ板を張付けした製品の打抜き作業中、靴を履き直そうとした際にバランスをくずして左手を金型内に置いたところ、下降してきた上金型に左手指をはさまれた（足踏み操作式スイッチ使用）。
4	休業 3ヶ月 右人指・中指開放 骨折等	45t プレス機械を使用して、金型の取付け作業中、切替スイッチを安全工程に切替えずに寸動位置の状態、足を乗せていた足踏起動スイッチを踏んでしまい、右手指を金型にはさまれた。
5	休業 4ヶ月 右手示指切断	プレスプレーキを使用して、長い金属部品の曲げ作業中、位置決めストッパーに押し当てたまま足踏スイッチを踏んだところ、加工材がストッパーから外れてしまい、加工材を押えていた右手指をはさまれた。
6	休業 1ヶ月 右手薬・小指骨折	10t プレス機械を使用して、金属材料のつぶし作業中、足踏スイッチを踏んでいたところ、金型内に置いていた右手指をはさまれた。

### ◇ 『災害発生情報』に反響が続々

筑西労働監督署管内で発生した労働災害事例を、筑西労働基準協会から電子メールで配信するサービスを開始したことは前回の23号でお知らせしました。利用いただいている事業者の皆様から、続々と反響が寄せられていますので、その一部を紹介します。

- ・これまでそれほど注意を喚起してきませんでしたが、今回配信された事例は参考になります。（N社）
- ・今年度はリスクアセスメントの実施に力を入れて行こうと思っていた折、このような情報はすごく助かります。（B社）
- ・身近な情報なので、危険に注意を払っていこうという気持ちになります。監督署や基準協会の意気込みが感じられます。（S社）
- ・大変わかりやすい資料です。早速、社内の安全教育に利用させていただいております。（G社）

配信を希望される方は、筑西労働基準協会（電話 0296-24-2796 FAX0296-24-9303）あてご連絡下さい。

### 【お知らせ】

筑西労基署広報は、茨城労働局ホームページ（下記）でもご覧になれます。

[http://www.ibarakiroudoukyoku.go.jp/corner\\_kantoku/index.html](http://www.ibarakiroudoukyoku.go.jp/corner_kantoku/index.html)

### これまでにお届けした『災害発生情報』

No.1 カゴ車転倒 2/1

No.2 フォークリフトがバックして 2/5

No.3 吊り荷が落下 2/10

No.4 ロールに手が巻き込まれ 2/16

No.5 安全カバーの下から手を入れて 2/22

No.6 飛び降りたところに小石 3/1

